

HRDグループは、パートナーとともに 最先端のアセスメントを提供し、「新しい働き方」を実現していきます

仕事に喜びを感じられる職場を創造する

「人々が働く喜びを感じ、生産性を高めて、自分たちの生活や社会を豊かにする」。いま、政府が主導した「働き方改革実行計画」を契機として、「働き方改革」という言葉が私たちの周辺で盛んに聞こえてきています。

それはとりもなおさず、私たちの「働き方」に「改革」の余地があることを改めて示しているといえるでしょう。職場環境、仕事の効率、仕事の適性、適材配置など、企業も働く人も、さまざまな試行錯誤を繰り返しながら、より「働きやすい職場の創造」を模索していると思われます。

HRDグループは、世界最先端のアセスメントをわが国の労働市場に提供してきましたが、その最大の目的は、科学的で合理的な人材評価を導入することによって、従業員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、仕事に喜びを感じることができる職場を創造することでした。

私たちの職場や仕事環境は、まだ十分に成熟しているとは言えません。そうした環境を変えていくためには、働く人のことをもっとよく知り、社内コミュニケーションの質を高め、もっとも能力を発揮できる仕事に配置する、そうした人材マネジメントが必要だとHRDグループは考え、それを可能にする最高品質のアセスメントを提供してきました。

そして、これまで多くのパートナー、企業組織がHRDグループの提供するアセスメントを導入し、新しい働き方を実現しています。

人材の能力を最大限に活かすことで 労働力不足を改善する

HRDグループが提供するアセスメントは、「新しい働

き方」を現場レベルで実践するための強力なツールです。ProfileXT[®]は、人材の採用・選抜・評価・育成・後継者計画・再配置など、タレントマネジメントサイクルの構築を通じて「人材を活かす」システムをつくりだし、生産性向上に重要な役割を果たしています。

また、DiSC[®]は自己理解、他者理解などを通じて従業員と会社、従業員と上司、従業員同士のコミュニケーションの質を向上させ、良好な関係性を構築し、組織の活性化を促しています。

人材を活かし、組織を活性化することは、すべての国民が労働市場において活躍する「働き方改革」のベースとなるものといえてよいでしょう。HRDグループは、パートナーである人事・人材開発領域のプロフェッショナルと共に高品質なアセスメントを労働市場に提供し、「働き方改革」を現実化する役割を果たしていきたいと考えています。

HRDグループが2017年12月8日に開催する「Assessment Forum Tokyo 2017」では、最新のアセスメント情報を皆様と共有し、「日本の職場と働き方」について考えていきます。

そして、グローバルな労働市場、IT化された仕事環境において、適切な人材採用、適材配置、キャリア開発を通じて企業にとって必要な人材を育てることは、企業の生命線と言って過言ではなく、労働力不足改善のキーポイントです。

そのためにも、個人が働くことに喜びを感じ、一人ひとりの能力を活かす組織のあり方が望まれているのです。

Contents

数々のパートナー支援プログラムを始動し
パートナーのHRビジネスを加速させる

- ◆ShowCase ②
- ◆パートナーミーティング/ Everything DiSCパートナー支援プログラム ③
- ◆世界のパートナーネットワーク Wiley社カンファレンスに参加

最新アセスメント情報

- ◆Everything DiSC[®]ワークプレイス
最新テクノロジーによる設計で
従来バージョンDiSC Classicとの違いが明白に ④
- ◆ProfileXT[®] 適材適所が企業の生命線となる時代の
JOB FITアセスメント ⑤
- ◆Profiles Managerial Fit[™] (PMF)
マネジャーのサポートツールとして好評

最新サーベイ情報

- HRDグループのサーベイが組織と個人を測定し、
生産性向上を図る
◆「Organizational Alignment Survey[™] (OAS)」組織アライメントサーベイ ⑥
- ◆リーダー育成のための360度サーベイ CheckPoint360[™]

最先端テクノロジー動向とHRDのアセスメント ⑦

HRD INFORMATION ⑧

数々のパートナー支援プログラムを始動し パートナーのHRビジネスを加速させる

世界最先端の情報を取り入れ 豊富な事例を共有する

HRDグループは常に世界の人事・人材開発の動向に目を向け、最先端のアセスメントをわが国に導入してきました。また、提供するアセスメントが最高のパフォーマンスを発揮し、わが国の人材教育の活性化を実現できるように力を注いできました。そして、それを活用しているのは、HRDグループの「パートナー」、つまり人材開発や組織開発コンサルティング事業を専門とするプロフェSSIONナルの方々です。

実際にアセスメントの持っている価値や可能性を人材教育現場で導き出すことができるのは、全国各地に存在するパートナーの皆様のおかげです。HRDグループでは、パートナーとの業務提携関係をより強固にし、パートナーの

ビジネスを支援することが最優先事項と考えています。

これらの重要事項を実現するために、HRDグループでは、「ShowCase」「パートナーミーティング」「Everything DiSC®パートナー支援プログラム」など、さまざまなプログラムを立ち上げ、展開しています。

これらのプログラムは、いずれも世界最先端の人材アセスメント情報を取り入れ、わが国の豊富な事例を共有し、パートナーのHRビジネスを支援する画期的なコンテンツとなっています。こうしたイベントを通じて、HRDグループとパートナーが、さらにコミュニケーションを深化させ、わが国の人材教育業界を革新することができたらと思います。

ShowCase《プロファイルズ（株）》

パートナーの顧客に対して、プロファイルズ社が課題解決案を提示

2017年5月12日、東京のHRDグループセミナールームにおいて、パートナー支援プログラム「ShowCase」（ショーケース）が開催されました。

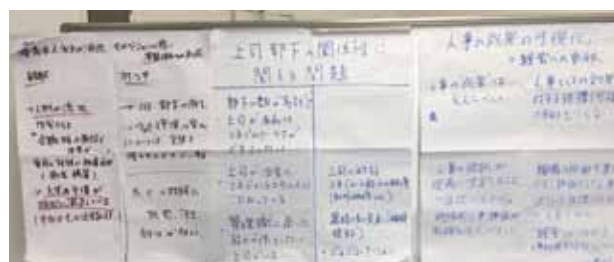
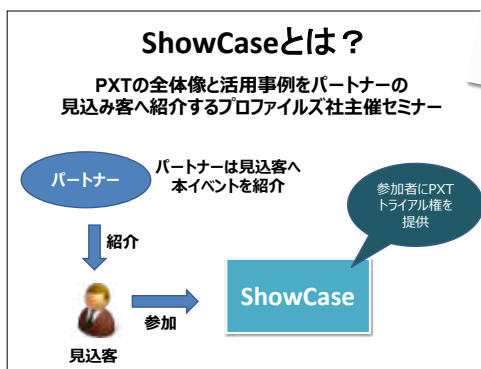
ショーケースは、米国Wiley社が米国内、ヨーロッパ諸国で展開しているパートナー支援プログラムの一つで、わが国においてはプロファイルズ社がこの日初めて開催した画期的なプロモーションセミナーです。その後、5月23日に大阪、7月20日に名古屋と相次いで開催されました。

ショーケースでは、参加企業への事前アンケートから人事課題を抽出し、参加企業同士のグループディスカッションを促しながら参加企業の課題に合わせたProfileXT®（PXT）の事例紹介によって、それぞれの企業の課題解決を探りました。

対話型セッションのため、参加企業からは、「ショーケースに参加して、現在の育成体制が最適かを考えるきっかけになった」など、大きな反響がありました。またPXTの体験トライアルを付与しているため、パートナーは見込客へのフォローアップがしや

すく、このショーケースをきっかけに案件の受注に結び付いたパートナーもいます。これらのコメントを受けて、来年度以降の当企画の継続開催も計画しています。

今後もショーケースによって、パートナーとクライアント企業の関係強化を支援していきたいと考えます。



パートナーミーティング《プロファイルズ（株）》

パートナーと最新情報を共有する場として定期開催

「パートナーミーティング」は、パートナーがアセスメントビジネスの最新情報を学べる場として、HRDグループのプロファイルズ社が定期的で開催するものです。

2017年に開催されたミーティングは1月18日、3月6日、4月20日、7月25日、10月17日、11月8日の6回にわたっています。

パートナーミーティングでは、パートナーの事業展開を促進する様々な情報提供やワークショップが実施されています。たとえば、1月のミーティングでは、2016年12月に開催された「AFT（Assessment Forum Tokyo）2016」の詳細をレポートいたしました。7月のミーティングでは、前記ShowCaseに参加したパートナーからの報告、ProfileXT[®]やCheckPoint360[®]™を企業に導入した事例紹介などが行われました。さらには新商品としてリリースされたProfiles Managerial Fit™のプロダクト体験勉強会など、多彩なコンテンツによって充実したものとなりました。

このように、パートナーミーティングは主催するプロファイルズ社からの情報提供だけでなく、パートナーによる体験談事例共有などからパートナー同士が知見を共有できる絶好の場となっています。



●Everything DiSC[®]パートナー支援プログラム プロモーション活動を支援する《HRD（株）》

HRDグループでは、パートナーがEverything DiSC ワークプレイスを用いたプロモーション活動を行う際の支援プログラムを、期間限定で展開しています。パートナーの皆様が、公開セミナーや講演会を開催される場合に限り、参加者のEverything DiSC ワークプレイス・プロファイルをHRDがご提供します。詳しくは認定資格者専用サイト、もしくはHRDまでお問い合わせください。

●アセスメントフォーラム 最新情報を提供する年次フォーラム

パートナーや資格者へ最新情報を提供するための年次フォーラムです。20年以上、「DiSC事例研究会」として開催されていたイベントの発展版で、DiSCに限らず、ProfileXTやCheckPoint360[®]など、幅広く「人材アセスメント」について知見を共有しています。

日本でのアセスメント導入事例や最新情報の学習セッション、また海外のコンサルタントや外部識者による講演を行います。

●リソースセンター 各種ノウハウが詰まったコンテンツを資格者向けに公開

HRDグループでは、有料のファシリテーションキットも含めて、リソースをオープンに共有し、資格者やパートナーの皆様が自社ソリューションを形成できるよう、パートナーの活動を支援するインフラ提供を行っています。

●パートナーアンケート HRDグループへの期待や要望を収集

人事・人材開発業界で活動するパートナー企業の皆様、HRDグループに対して何を求め、何を期待しているのか、ご意見を収集するアンケートを定期的に行います。

世界のパートナーネットワーク Wiley社 カンファレンスに参加

Wiley社Mindlabは、人材開発に携わる世界のプロフェッショナルが集い、国際的なネットワークが形成される最大規模のカンファレンスです。

2017年4月5日から7日まで、米国アトランタにて開催されたMindlabに3日間にわたり700名程が集い、HRDグループからも6名が参加し、最新情報を収集するとともに、世界の人材開発・人事コンサルティングパートナーとコミュニケーションを図り、ネットワークを構築してきました。

同年10月23・24日の両日、海外のパートナー代表者会議がバルセロナで開催され、HRDから2名が参加しました。オンラインプラットフォームのセキュリティやデータプライバシー、今後の商品開発など、グローバルの市場ニーズに関する活発な議論がなされました。

ベストプラクティスを日本のパートナーの皆様と共有し、国内においても高質なプロ同士のネットワークの実現を目指しています。



脳科学の専門家Dr.Britt Andreattaによる講演
“The Brain Science of Why Change Fails and a New Model for Driving Success.”

世界中から、人材開発・人事コンサルタントが約700名集まった



Everything DiSC[®]ワークプレイス最新テクノロジーによる設計で
従来バージョンDiSC[®] Classicとの違いが明白に

今や世界のDiSCアセスメントの中核に

2016年12月、次世代DiSCアセスメント「Everything DiSCワークプレイス」の日本語版がリリースされました。HRD社では資格者支援のため、「Everything DiSCワークプレイス・プロダクト認定コース」を創設しましたが、参加者は500名を超えています（2017年10月現在）。

このように多くのパートナーや企業から「Everything DiSCワークプレイス」が支持され、円環モデルになった新バージョンへと移行しているのは、アセスメントの納得性の高さ、正確性、そして有用性に新たな可能性を見出しているからと考えられます。

この次世代型DiSCアセスメントは、個々の回答者に対応して設問を柔軟に適應させる「コンピュータ適応型テスト（Adaptive Testing）」で設計されるなど、最新のテクノロジーや測定手法が導入されています。

このように、最先端技術を駆使した「Everything DiSCワークプレイス」は、現代のIT時代にマッチし、今や世界におけるDiSCツールの中心的な存在となっています。

見えてきたDiSC Classicとの明らかな違い

Everything DiSCワークプレイスは、いまでは多くのパートナーと企業で導入、活用されていますが、そこから旧バージョンであるDiSC Classicとの明らかな違いが見えてきました。

違い1 ■研修の進め方の違い

「ワークプレイス・プロファイル」という教材

この次世代型DiSCアセスメントのカリキュラムは、よりインタラクティブに設計されています。また、プロファ

イル教材が個人ごとにより深くカスタマイズされているため、研修現場では、個人化した教材を持ち寄ってより実践的な学びを促すことができます。

このため研修は、個人に特化しつつ、対話型、双方向型で進められることに大きな特徴があります。

違い2 ■実践度・フォローの違い

「比較レポート」という教材

「Everything DiSCワークプレイス」の特徴の一つが、研修をイベントとして終わらせるのではなく、学びを職場での実践に結びつけ行動変容につなげることを目的としていることです。

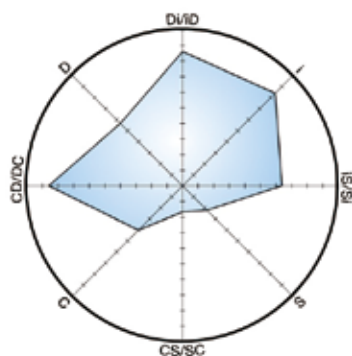
これを実現する具体的な教材が、任意の2名の共通点や差異を円環マップで表現する「比較レポート」です。このレポートでは、1対1の関係性が円環マップで視覚的に表現され、このツールを活用してのコミュニケーション支援が可能となります。

教材の実践性が高まり、研修後のフォローがより一層充実し、成果に結びつきやすくなります。

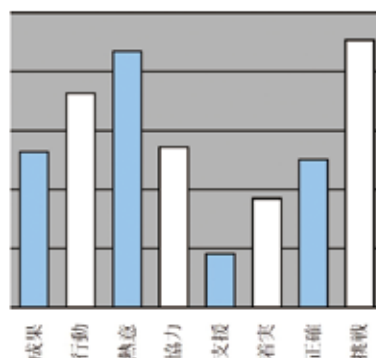
違い3 ■納得性の違い

「補足レポート」というファシリテーター用教材

補足レポートに表示される8つのDiSC尺度や優先事項の測定結果を確認することで、一人ひとりの違いを立体的に表現することができます。1対1のフィードバックやコーチングなどの場面でも活用されます。



DiSC Classicでは4つの尺度で測定していたものが、Everything DiSC では8つの尺度でより詳細に分析している。



「優先事項」を測定することで、一人ひとりの違いを立体的に表現できるようになり、結果の納得性を大きく高めている。

適材適所が企業の生命線となる時代の JOB FITアセスメント

社員の最大のパフォーマンスを発揮させるために

ProfileXT(PXT)日本語版が最初にリリースされた2012年当時と比較して、わが国の人材マネジメントの状況は変化してきています。

優秀な人材を確保することが困難な状況下で、企業としての人事戦略が見直されてきています。費用対効果の側面からも、その従業員が「本当に適した仕事に就いているのか=JOB FIT」が人事におけるより現実的な課題として浮かび上がっているのです。

最適な仕事に就いていなければ、その人材は最大のパフォーマンスを発揮することができず、その社員にとっても組織にとっても計り知れない損失であることは言うまでもありません。真の適材適所を実現するため、求める人材像の明確化に高い関心を寄せる企業が増加しており、実践的で具体的な解決策が求められています。

PXTは、こうした人材のJOB FITに最適なアセスメントです。採用、配置、育成、後継者計画などの各人事領域に活用できるツールとして国際的に高く評価され、国内においても企業の経営トップ、人事部門から注目と期待を集め、導入する企業が急増しています。

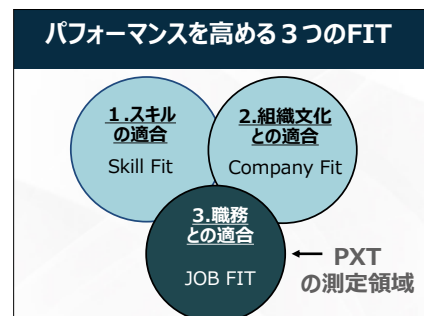
事業戦略の中核を支えるツールとして導入活用

企業が導入する動機は、それぞれの企業の事情によって

異なります。そのうちのいくつかを挙げてみると「採用と育成を全社戦略に掲げているが、実態が追いついていない」「M&Aや経営統合を果たしたばかりで、中核にあるべき人材が見えてこない」「新事業を立ち上げ、子会社設立なども視野に入っているが、適任が分からない」などは、これらは企業の事業戦略に関係したものとなっています。

あるいは、「人材の見える化を実現したい」「職能（人）から職務（仕事）ベースに人事戦略を移行したい」「自社のコンピテンシーモデルが機能していない」など、人事部門の危機意識がアクションにつながっているケースもあります。

PXTを導入する組織規模は、数千名を想定したプロジェクトもあれば10名程度のケーススタディから始動するなどさまざまですが、導入後の感想として「科学的に裏付けられたアセスメントによって、従来とは違った人事施策を実現できている」と、その成果への満足感が多く寄せられています。



マネジャーのサポートツールとして好評

マネジリアル・フィット (PMF) は、PXTの派生ラインナップとしてリリースされたアセスメントです。上司のマネジメントスタイルと、部下のマネジメントニーズの適合性 (Managerial Fit) を評価するアセスメントとして導入、活用されています。

上司のマネジメントスタイルには、部下に熱心に関わるタイプもあれば、あまり干渉しないスタイルなどさまざまですが、こうしたスタイルがフィットした場合にはお互いのパフォーマンスは向上し、フィットしなければ低下を招きます。

Profiles Managerial Fitをベースにしてチームパフォーマンスを向上させたり、離職者を減少させることで

新たな採用を回避するなど、PMFの導入・活用は企業に多くの利益をもたらすと、評価が高まっています。

実際、「上司が部下の強み、チャレンジ行動を素早く把握できる」、「アセスメント指標を軸に部下を育成し、その成長を実感することで自身のマネジメント力を向上させることができる」など、PMFはマネジャーのサポートツールとして機能しています。



HRDグループのサーベイが 組織と個人を測定し、生産性向上を図る

現状を測定し改善に導くサーベイ群

いま、人事・人材開発分野の現場の担当者から、「人事施策の実施効果が見えてこない」「研修を実施しているが、その後のフォローができていない」などの声が聞こえてきています。

そうした問題点が浮かび上がってくるのは、組織や個人について現状を測定することで課題を抽出し、具体的な改善案を立て、実行に移し、結果を検証するといった一連のプロセスが導入されていないからと考えられます。

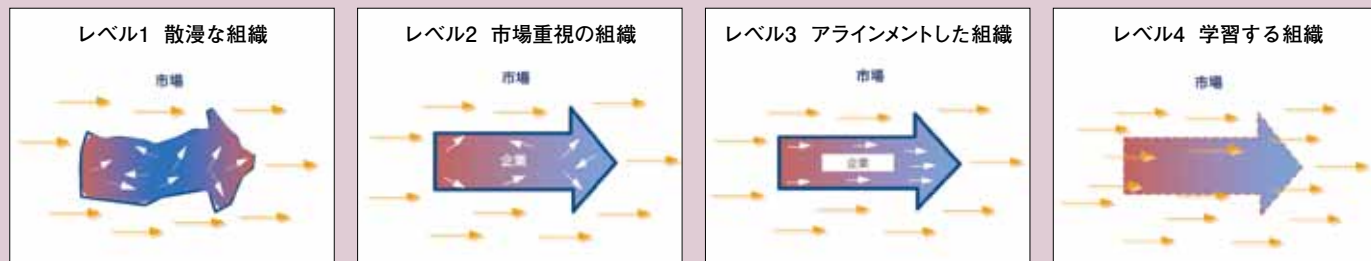
HRDグループでは、組織や従業員の現状を測定し、改善へと導くサーベイを提供しています。

これらのサーベイは、組織と個人が同じベクトルに向かっているか、人材教育の前と後では組織と個人にどんな変容が生まれているかなどを明らかにし、組織活性化を図る重要な役割を果たすものです。

「Organizational Alignment Survey™ (OAS)」 組織アライメントサーベイ

企業戦略とアライメント（方向性の一致）を図ることによって、企業の可能性を最大に発揮させるサーベイがOASです。OASは、市場の動向と企業の方向性が一致した「アライメントした組織」や、組織内部の学習が市場と連動し、企業の将来展望に結びついていく「学習する組織」を構築する妥当性の高いツールです。

- ◆OASは、すでに日本市場に提供されていましたが、この度大幅にリニューアルリリースいたしました。
- ◆今回のOASのリリースに伴って、HRDグループのパートナーによる取り扱いが可能になりました。
- ◆2018年2月20日に、第1回OAS認定セミナーが開催されます。



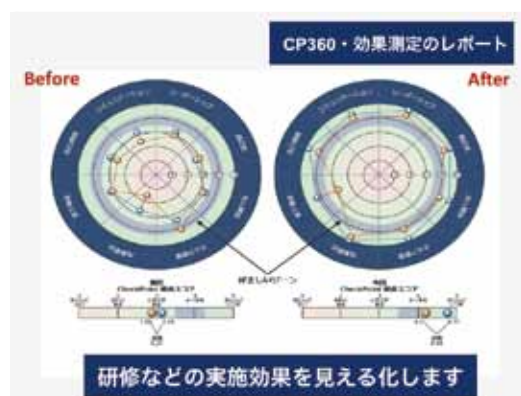
OASはビジョン、社内文化、クオリティーといった12の大項目とその項目に紐づく66問の設定で構成されています。測定後、組織全体や部門ごとのサマリーと詳細結果をレポートします。上記のような、アライメントレベルについての情報も示されます。

リーダー育成のための360度サーベイ CheckPoint360°™

多くの組織において、管理職のプレイヤー化、部下マネジメント力の欠如は共通の課題として認識されています。CheckPoint360°は、人材育成を目的としたサーベイとして2014年にリリースされ、多くの日系企業及び外資系企業に導入されてきました。とりわけBefore/Afterを示し、育成対象者の行動変容が「見える化」できるレポートに共感の声が寄せられています。

組織内で一緒に働く人の行動変容をその目で見ることにより、向上心やモチベーションは確実に高まっていきます。

CheckPoint360°は、管理者の上司のための部下育成ツールとして、また管理者本人の育成ツールとして機能する360度サーベイです。



最先端テクノロジー動向と HRDのアセスメント

人事・人材育成も

HRテクノロジーの時代へ

人工知能（AI）、すべてのモノがインターネットにつながるIoTなど、最先端情報技術は、社会や暮らしを急速に変えつつあります。これまで人事管理や人材教育は、事業分野などに比較して最先端テクノロジーの導入・活用が遅れていましたが、ここに来て日本においても「HRテクノロジー」として認識されるようになってきました。

その内容は、人事や人材開発などHR領域へのビッグデータなどのデータ活用です。人材データは、従来は見えにくかった人材のポテンシャルや行動特性、働く人同士の相関関係の見える化を可能にしたのです。膨大な人材データの分析を通じて、人材のモチベーション、パフォーマンス、エンゲージメントなどの解明を可能にしました。

こうしたHRテクノロジーの導入は、これまでの経験や勘を軸とした主観的評価から、データを駆使した科学的評価へと人材マネジメントのあり方を大きく変えようとしています。

オンラインによる

プラットフォームの構築

しかしいまや、職務経歴や受講した研修履歴といったいわゆる「ハード情報」を蓄積するシステムだけでは不十分で、人材の強みやポテンシャルなどの「ソフト情報」まで把握し、経営や人事の意思決定のための情報を蓄積することが求められる段階へときています。HRDグループが提供するProfileXT®（PXT）、Everything DiSC®などの人材アセスメントは、それを実現してくれるソリューションとすることができます。

たとえば、PXTにおけるパフォーマンスモデルの構築は、膨大な人材測定データの集積をベースにして、どんな

人材がその仕事で最大の能力を発揮するのかを効率的に分析できるものです。いわば、HRテクノロジーを用いた先駆的なアセスメントとすることができるでしょう。

人材分野のIT化が進んでいくと、アセスメントを提供するプラットフォームもまたIT化していきます。PXTは「PAC」、Everything DiSCは「EPIC」というそれぞれのオンライン・プラットフォームによって認定パートナーに提供され、自社運用が可能なクラウドサービスです。科学的に裏付けされたアセスメントで測定した人材データを社内に蓄積し、それを採用や配置転換、研修などで効率的に活用できるようにデザインされています。

根本的に変革される

学習のあり方

こうしたHRテクノロジーの進展は、人材教育や組織構築に関するインフラの進歩を意味しており、一人ひとりのニーズに合わせたアダプティブラーニングの提供が可能となっています。

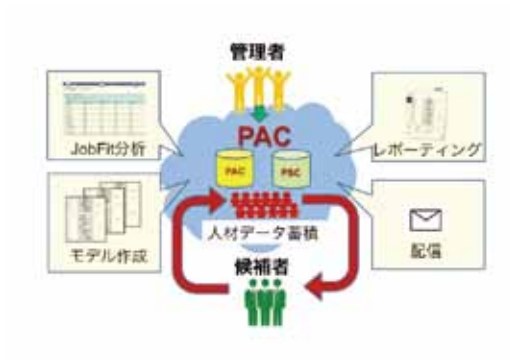
また、HRD社の主催する「DiSC認定セミナー」においては、ブレンディッド・ラーニングを応用した学習法が導入されています。この学習法では、まず参加者には事前eラーニング（個別学習）を行ってもらい、それからワークショップ（集合研修、グループワーク）に参加、そして認定テストを受け、その後実践をフォローします。学習者が主体的になり、効率的かつ効果的なラーニングが実現されています。

さらに、スマートフォンなどモバイルを活用したMyEverythingDiSC.comを使えば、任意の他人との「比較レポート」を確認でき、「いつでも、どこでも、誰とでも」学ぶことを可能にしています。



MyEverythingDiSC.com

Everything DiSCの結果をPCやモバイルで確認でき、他の回答者との関係性も確認できる。現在英語サイトのみで運営されている。



PACイメージ画像

測定された人材データを蓄積し、採用・配置・育成・評価等、人事上の判断や意思決定を示唆するプラットフォーム。

各種認定セミナー日程

※会場は、いずれもHRDセミナールーム/東京都江東区

Everything DiSC® 認定セミナー公開コース 2018年の予定

1月25日(木)～1月26日(金)	6月14日(木)～6月15日(金)
2月15日(木)～2月16日(金)	7月12日(木)～7月13日(金)
3月15日(木)～3月16日(金)	9月6日(木)～9月7日(金)
4月26日(木)～4月27日(金)	10月18日(木)～10月19日(金)
5月24日(木)～5月25日(金)	11月21日(水)～11月22日(木)

PXT認定セミナー 2月27日(火)～28日(水) CheckPoint360™ 認定セミナー 3月6日(火)

第1回組織OASサーベイ 認定セミナー 2月20日(火) 9:30～13:30

Organizational Alignment Survey™ (OAS) について学ぶ認定セミナーです。
当開催を第1回目として、今後継続的に開催する予定です。

各種イベント

■Everything DiSC ワークプレイス プロダクト認定ワークショップ

DiSC® ClassicでDiSC認定資格を取得された方々を対象としたEverything DiSCの基本を学ぶアップデートコースです。2017年に引き続き開催いたします。
追加開催日時決定 2月2日(金)、4月20日(金)

■プロファイルズ(株) ショーケース

パートナーが自社の見込客を呼び込み、顧客との関係

構築に役立てて頂くことを目的とした、プロファイルズ(株)が主催するPXT情報提供セッションです。

- ・東京開催：2018年3月2日(金) 9:30～12:30
- ・大阪開催：2018年3月8日(木) 9:30～12:30

■プロファイルズ(株) パートナー募集説明会

人事・人材開発サービス提供事業者を対象に、PXT活用事例やビジネスモデルを学べるイベントです。

- ・2018年3月13日(火) HRDセミナールーム

お知らせ

●Everything DiSC ワークプレイス

移行支援プログラムの期間延長について

この支援プログラムは、EPICアカウントにDiSC Classicレポートが保存されている回答者には、Everything DiSC ワークプレイスを、5クレジット(通常15クレジット)で配信できるものです。本プログラムの適用期間が2018年10月31日まで1年間延長されました。

●AFT2018 開催日時決定!

「AFT2017」に引き続き、「AFT2018」の開催日が2018年12月7日(金)に決定いたしました(東京にて)。HRDグループが主催する、人材アセスメントについて学ぶ年次フォーラムです。

●アセスメント解説映像を作成しました

HRD(株) / プロファイルズ(株) ホームページにて、DiSC及びPXTの価値を直感的に理解できる動画コンテンツを提供しています。アセスメントの効用を分かりやすく伝えるツールとしてご活用ください。



Everything DiSC解説映像



ProfileXT解説映像